

令和4年度 事業計画

総 括

ここ数年、当センターの会員数の増加幅は緩やかなものでしたが、令和3年度には11名増と、平成21年度以来、実に12年ぶりの2桁増となりました。

会員の平均年齢は73.9歳と年々高齢化が進展していますが、年齢は、単なる数字です。高齢者の健康状態や身体能力は、年齢という数字で一括りにして論じることではできません。会員一人ひとりの持てる能力を把握し、適材適所に人材を配するため、さらなる健康管理や転倒等の事故防止に取り組まなければなりません。

また、剪定や除草等、発注者が望む業務を希望する会員の減少に歯止めがかからないこと、会員の高齢化もあって後継者の育成もままならないことにより、発注者の要望に応えられない状況が続いています。如何にこれらのアンマッチを解消していくかが大きな課題として立ちはだかつており、解決の道筋を模索していかなければなりません。

これらの問題解決の最大の方策が、会員の拡大であり、センターの核をなす課題となっています。会員の拡大のためには、センターが魅力ある場所になることが必要不可欠です。そのために、会員がセンターに入って良かったと実感できるよう、「生きがい・やりがい」へシフトしたセンターづくりを目指し、第4次行動基本計画のキャッチフレーズである「新しい友と楽しい日々を」を感じられるようなセンター運営を構築してまいります。

令和4年度は、センター設立30周年の節目の年です。新型コロナウイルス感染症が2020年1月に日本で初めて確認されてから3年目となり、社会的な閉塞感が漂う昨今ですが、近隣のセンターや関係機関との連携を密にし、多様な社会参加活動の場として、地域社会づくりに貢献してまいります。

基 本 方 針

【公益目的事業である高齢者の就業その他の社会参加活動を推進する事業の展開】

関係機関との連携強化や広報活動を通して、センター事業の理念と事業内容を広くかつ正しく周知し、新規会員の入会促進と設立の原点である高齢者の生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上及び活性化に貢献するため、以下に挙げる5点の事業を行動基本計画に基づき推進する。又、健全な財政基盤を確保し、円滑な事業運営に努める。

1. 雇用によらない就業機会の提供事業

(1) 受託事業

高齢者の能力を活かした多種多様な就業機会の拡大
人手不足分野における就業会員の拡大

(2) 独自事業

夏休み学習応援おもしろ教室の実施
ちょっこしマーケット等、進展する会員の高齢化に対応する新規事業の開拓

2. 雇用による就業機会の提供事業

(1) 労働者派遣事業

就業機会の拡大と適正就業徹底のための派遣事業の活用

(2) 職業紹介事業

雇用による就業を希望する会員への展開

3. 講習・研修事業

会員の資質向上に資するための講習会の開催

新規会員獲得及び退会抑制のための講習会の開催

4. 就業支援等に係る受託事業

石川県シルバー人材センター連合会と連携した就業支援等の事業への協力

5. 上記1～4の事業及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動事業

(1) 普及啓発

既存会員による新規会員勧誘運動の継続実施

ポスター及びリーフレット、シルバーだよりの有効活用

新聞折込チラシ等によるPR強化

ホームページの更なる充実

(2) 安全・適正就業の推進

安全就業の周知徹底、巡回パトロールの実施強化

会員の健康管理の徹底

石川県シルバー人材センター連合会と連携した安全就業の徹底

(3) 調査研究

発注者に対する満足度調査及び既存会員の意識調査

(4) 就業分野の開拓

企業訪問による受注の拡大

会員の希望と能力に応じた職種の調査と情報の収集

(5) 地域社会のニーズに対応した事業

行政・地域社会との協働による事業の推進

(6) 相談、情報提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会の開催

ハローワークでの入会説明会の開催

定年退職対象者への情報提供

(7) 社会参加活動の推進

地区連絡会を基盤としたボランティア活動を始めとする自主的な活動の促進

(8) 組織体制の充実

理事会機能及び会員組織活動の強化

公共機関、職業紹介機関、他市町センター等との情報交換

役員・各委員・職員の各種研修会への積極的参加と職員資質の向上